

令和4年度 あいさんハウス事業報告

【令和4年度重点目標】

1. 多機能型による組織体制の強化
2. 職員の総合的な資質の向上
3. 就労棟が活かせる業務向上

【取組内容】

1. 多機能型による組織体制の強化

- ① 利用者の立場を尊重した支援体制の確立
 - ・利用者一人一人のニーズや課題を把握・共有し、個々に合わせた統一支援に繋げるためのケース検討会議の充実
 - ・「虐待を防止するための措置」として虐待防止チェックリストを作成し、年に4回実施
 - ・「虐待防止に向けた取り組み」の検討結果について、職員会議、各部署会議等において、全体周知を図り、「サービスの質の向上＝虐待をしない・権利を擁護する」という意識啓発
- ② 組織間の共助体制の強化
 - ・職務分掌の整理と役割分担・責任の所在を明確にして組織の指示系統を整備
 - ・各会議体・委員会等の再編成を行い内容の充実を図り、目的を明確にすることで、円滑に共有される体制の強化
- ③ ITシステム導入に伴う業務改善
 - ・「記録・請求管理システム」の導入により事務負担の軽減と業務の効率化・共有化を徹底
 - ・タブレットを活用し、紙媒体の簡素化に向けた取り組み
 - ・「記録・請求管理システム」を活用して機動的に行うことが出来る体制の整備
- ④ 戦略的な設備更新
 - ・修繕・購入5年計画を作成し、経年劣化した厨房機器、給湯器、エアコン、ガス乾燥機等優先順位を決め、計画的に修繕・購入の実施
 - ・利用者の送迎範囲の拡大と効率的な送迎を充実するために、公用車を増車
- ⑤ 災害、感染症に対する事業計画立案
 - ・緊急時には事業レベルの落ち込みを小さくし、事業停止を回避して施設運営を維持しながら、自然災害や地震発生による非常事態においても業務を継続できるよう事業継続計画(BCP)を策定し、利用者、職員の安全確保や物的被害の軽減のための対策・見直しの継続
 - ・大規模災害(地震・風水害)に対する体制整備の確認
 - ・新型コロナ感染対策においては、法令改正に沿った取り組みを実施

2. 職員の総合的な資質の向上

① 研修体制の見直し

- ・現場に必要なスキルアップ研修として、外部講師を招聘し、利用者の高齢化に伴う介護技術の一環として「オムツ研修」の実施
- ・地域の精神科病院の職員による「発達障害」に関する基礎的な研修会の実施

② 中途採用職員の研修体制の構築

- ・OJT 研修計画の見直しを図り、安心して働けるバックアップ体制の強化
- ・業務負担軽減、希望する研修への参加等の充実を図るため、中途職員を必要数確保
- ・資格取得に向けての体制の整備

③ 人事考課制度運用の徹底

- ・人事考課制度に基づいた期初・中間・期末面談を実施するなかで、都度、目標の確認・共有を図り、モチベーションの向上に繋げる

④ 計画的な配置転換の実施

- ・職員個々の能力を発揮できるように、適材適所を考慮し、計画的な配置転換を実施

3. 就労棟が活かせる業務向上

① 利用者増加に向けた取組

- ・作業内容の見直しを行い、利用者が自己決定・選択できるプログラムの充実
- ・定員拡大に伴い、各行政機関、相談支援事業所、特別支援学校等との連携強化を図り、利用者主体の相談支援の実践等を推進し、利用者増に繋げる

② 日中活動の充実した取組み

- ・複数のパートナー企業を開拓し連携強化を図ることにより、幅広い日中活動プログラムの充実や平均工賃の向上に繋げる
- ・利用者が楽しく、また仕事に対する意欲が湧くような支援方法の確立と、長く働くことができるように、一般就労に向けた訓練のアセスメントの強化
- ・利用者一人一人に合わせた作業内容・作業工程を見極め、個々の目標が達成出来るように自主的に考える力を習得する仕組みの構築
- ・就職に向けた社会的マナーを身につけるための勉強会を定期的で開催し、個々の障害に応じた訓練体制の整備
- ・農福連携の取組により障害特性に合わせた、水耕、畑作業などの活用の継続
- ・生活介護の活動内容の見直しを図り、利用者一人一人の特性に合わせた活動プログラムの確立

③ 人材確保に向けた取組み

- ・就労棟に関する情報の対外的な発信を強化
- ・施設内の各部門および法人本部や他施設との連携を強化し、採用に関する情報共有を徹底して、求職者、紹介関連会社とのタイムリーな関係の継続